

区 の 紹 介

多摩区は、北側に多摩川が流れ、南部には多摩丘陵が広がる水と緑にあふれた街です。

1972年4月に川崎市が政令指定都市に移行したことに伴って誕生しました。1982年7月には、多摩区の西部が麻生区として分区され、現在に至っています。

かつては「多摩川梨」の栽培で知られるように農村地帯としての景観を多く残していましたが、都心への交通手段などに恵まれている事もあって、大規模な宅地開発などが進みました。



また、生田緑地は約120haの広大な緑の中に文化・教育施設が点在しており、市民の憩いの場となっています。

さらに約2万人の学生が区内の大学キャンパスに通う、若者のまちでもあります。



ピクニックタウン多摩区

ピクニックタウン多摩区とは、森・川・原っぱ・農地など、多摩区の豊かな自然環境を活かして、ゆるゆると、時には元気いっぱいピクニックを楽しむまちづくりの事です。

「ピクニック」を通じて、様々な年代の人たちがつながり、「このまちに住みたい・住み続けたい」と思う人を増やし、まちの活性化につなげることを目的としています。

多摩区の木・花

多摩区の木



区の木 ナミスギ

ハナミズキ



区の木 ナシ

ナシ

多摩区の花



区の花 モモ

モモ



区の花 スミレ

スミレ

多摩区のシンボルマーク



多摩区の「多」が、緑豊かな自然環境を表現する2羽の鳥にデザインされています。

自然との調和の中で、人間らしいのびのびと生活する区民と明日へ向けて飛躍する多摩区をシンボライズしたものです。

学びのまち

多摩区にゆかりのある

3大学

学生が地域のイベントやまちづくりに積極的に参加するなど、3つの大学と連携をしながら、地域活性化に取組んでいます。



専修大学

1880年創立。経済・法・経営・商・文・ネットワーク情報・人間科学・国際コミュニケーションの8学部、5研究科、法科大学院を擁する人文・社会科学系総合大学です。生田キャンパスでは、現在、約10,000名の学生が学んでいます。21世紀ビジョンとして「社会知性の開発」を掲げ、教育・研究の充実を図っています。

東三田2-1-1

地図索引 H-8



明治大学

1881年創立。緑豊かな多摩丘陵に位置する生田キャンパスは、1950年に開設され、現在では最新の研究・実験設備のほか温室や自然の地形を利用した園地を擁し、理工学部8学科・農学部4学科及び各学部に基づき、置く大学院まで含めた一貫教育の下で、約8,000名の学生が学んでいます。

東三田1-1-1

地図索引 G-7



日本女子大学

1901年に創立。女子高等教育のパイオニアとして幼稚園から大学院までの一貫教育を行っている女子総合大学です。西生田キャンパスでは、附属中学校・高等学校の生徒が学んでいます。また、キャンパス内にある生涯学習センターでは、卒業生や一般の方々も公開講座を受講しています。

西生田1-1-1

地図索引 C-6



協議会
設立20周年

多摩区と大学の連携による取組み

多摩区内に立地するなど、多摩区にゆかりのある専修大学、明治大学、日本女子大学と川崎市(多摩区)は、2005年12月に「多摩区・3大学連携協議会」を設立し、大学の専門的な知見を活かした地域課題の解決、大学と地域との交流促進に向けた取組みを行っています。

多摩区3大学コンサート

3大学の学生が素晴らしい音楽を届けるコンサート。



明治大学Wind Orchestra (ウインドオーケストラ)

大学生の地域参加

大学生と地域が連携した活力ある地域づくりを進めるため、大学生が多摩区を知り・学び・実践するプログラム「たまなび」を行っています。

地域活動への参加



地域でイベントを開催



取組みの様子は区HPでも年度ごとに紹介しています

今までの取組み

大学生と小学生と一緒に地域イベントの企画でお店を出店する「一日こども商店街」や、子ども食堂、イベント等の地域活動への参加を通して、地域の人々が楽しく交流できる取組みを実施しました。

1日子ども商店街



地域をまちあるき

発行年月：2025年2月

※本ガイドマップに含まれる情報は特に注記等が無い限りは、2025年1月現在の情報です。

発行：多摩区役所地域振興課

〒214-8570 川崎市多摩区登戸1775-1

TEL 044-935-3239 FAX 044-935-3391

制作・地図調製：株式会社武揚堂

協力：多摩区観光協会

多摩区見どころガイドホームページ

<http://tamaku-kanko.net/>

